

みちのく会は東日本大震災、福島第一原発事故により北海道へ移り住んだ被災避難者の自助団体です。当会は、2011年4月23日に発足し、会員同士の自助、地域市民とのコミュニティの発生、それぞれが願う自立を目指し、様々な取り組みを行っています。

ホームページ：<http://michinokukai.info/>

ブログ：<http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

メールアドレス：office@michinokukai.info

「5年目の3.11」東日本大震災から5年目を迎える今こそできること

3月10～11日、地下歩行空間で開催された「5年目の3.11」にブース出展しました。実行委員会の発表によると二日間で約6000人の方が来場されたそうです。みちのく会ブースにも多くの方が足をとめ、ミッチィグッズを手にとってくださったり、手記を受け取ってくださったりしたほか、一度みちのく会を訪れてみたかったけれどきっかけがなくて…という方もいらして、私たちスタッフも嬉しい出会いがありました。

震災以降ずっと様々な形で支援に携わってくださった方や札幌へ避難されている方も次々と訪れ、あちこちで再会を喜ぶ声も聞こえました。今回のイベントシンボルであるハートのデザインにも表れているように、会場が温かい雰囲気包まれているのを感じながら、午後2時46分には失われた尊い命への祈りとそれぞれの願いをこめて黙祷を捧げました。未曾有の災害から5年目を迎える今こそできること、また、これからのみちのく会の在り方について思いを巡らせる2日間となりました。



悪天候の中、わざわざ足を運んでくださった皆さま、そして寒い会場で立ちっ放しにも関わらず笑顔でお手伝いをしてくださった皆さま、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

みちのく会札幌本部スタッフ一同



本間会長からの挨拶

みちのく会が発足して間もなく4年をむかえます。多くの人と出逢い、いろいろな思いに共感し、支えられながらの4年間だったことに感謝しています。

震災後、多くの人が北海道にやってきました。その人たちが「私たちは、ここにいるよ」という旗をあげることで、知らない土地で心細く暮らしている人、これから来ようと思っている人たちのみちしるべになればと思いながら、私自身もあたたかい気持ちでいつもいただいていた。

今年の3月から、私は、4年ぶりに震災後すぐに札幌で就職した会社に復帰させていただきました。

みちのく会の会長職を継続しながらではありませんが、みちのく会の事務所に居る時間は、ずいぶんと少なくなりました。今後は、少し、外からみちのく会を見つめ、寄り添っていきたいと考えています。

みちのく会は、支援団体ではなく被災・避難者の自助団体です。お手本も正解もありません。家族のような空気のような、ありのままの自分が都合のよい時に都合よく関わりあえる場、つらい人も元気な人も誰も否定されないほっとできる居場所と思っただけの事を願って、今後も一緒に泣いたり笑ったりしながら北海道での暮らしを共にあり続けたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

みちのく会 会長 本間紀伊子

藤本本部長からの挨拶

みちのく会の札幌本部役員、藤本昭則です。会計監査を2013年から2015年まで務めさせていただきました。2015年3月より、札幌本部の本部長として新たに務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

早いもので、茨城から北海道に避難してから、もう5年目に入りました。その歴史の中で、みちのく会に深く携わったのはわずか2年ほどですが、これまでたくさんの支援を受けて、今日まで避難生活を続けられたんだなぁと体感してきました。

5年目となり、震災当時、混乱していた緊急事態からは、少し離れた状況になってきました。今まで運営スタッフも家庭や仕事がある中で続けて、無理をしてきたみちのく会ですが、だんだんと今後は、無理をせず、動きたくなかった人は立案し、協力できる人たちが集まり、事に取り組むという、自助の自然な活動の形になれば素敵なことだなと思っています。

札幌本部長といっても、私も出来る事しかできません。避難者の代表みたく表に出て取材も受けたくありません。家族といる時間の方が大事だと思っています。そして特に、北海道に来てからの出会いは大事で、大切にしたいと思っています。「みんなで“無理をしない”みちのく会」がスタートできると嬉しいです。是非会員の皆様の、ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

会員さん紹介

滝沢由美子さん(南区)

今回ご紹介するのは、2012年1月に東京からご家族で避難してこられた滝沢由美子さんです。滝沢さんは昨年末、南区藤野に 素朴屋 soboku-yaを仮オープンさせ、北海道の自然農小麦を中心に有機無農薬、無肥料無農薬(自然栽培農法)など厳選した素材で、素朴な味わいのお菓子を作っています。

Q:ご自身でこのお店をオープンさせようと思ったきっかけを教えてください。

A:手作りのお菓子を千歳のマルシェなどで販売させてもらうようになってから、営業許可の壁にぶつかり、イベントによって販売できなかつたりなど悔しい思いをすることもあったんですね。その問題をクリアすべく営業許可を取ろうと決めたのがきっかけです。この場所を選んだのは、2013年春から借りている畑が近かったというご縁もありました。また、お菓子作りにあたって、放射能だけでなく農薬などにも気を付けるようになって、自然栽培のお野菜など色々な繋がりができてきたので、それを皆さんにも提供できたらという思いであります。

Q:念願のお店がオープンした今、これからの目標や夢などはありますか。

A:今は平日(水金)10:00~16:00で営業していますが、子育てときちんと両立できる範囲ではありますが、土曜午前中の営業を目指しています。それと、安心な材料であること、安定して調達できるものであることといった材料調達の条件に合うものを見つけ、メニューを増やしていきたいですね。また、畑で穫れる自作の無肥料無農薬野菜もお店で販売していけたらと思っています。



Q:みちのく会の会員さんへ伝えたいことはありますか。

A:私自身も苦労したことなので、ハンドメイドのものを売る場所がないという方がいらしたら、お店のレンタルボックスを無料でお貸しします。よかったですら使ってください。そして「体に優しいものを食べたい」「お子さんに食べさせたい」という方、リクエストがありましたらできるだけお応えしたいと思っています。ぜひ遊びにいらしてください。

滝沢さん、ありがとうございました。お店の場所など詳細はHPをご覧ください。

HP <https://www.facebook.com/sobokuya>

Twitter ID @sobokuya



みちのく会 空知支部より

皆さんこんにちは。そらち支部です。

この3月で震災より4年が経ちました。被災された皆さん、ご遺族の皆さん心よりお悔やみ申しあげます。私達はあの日より様々なことを経て、より安全な所を求めて北海道へ避難してきました。北海道へ来てからの生活や想いも様々であると思います。嬉しい事も苦しい事もありました。北海道での生活は多くの方々の支援や思いやり、励ましに支えられたものでした。本当にありがとうございました。この感謝や恩返し気持ちをもってこれからもそらち支部の活動にあたっていきたいと思います。

3月11日は「さよなら原発」空知集会で宍戸隆子さんの講演「震災・原発事故発生から4年」～薄れゆく記憶と避難者のいま～があり、避難したくてもできない方々の現状や現地の放射能の高さなど様々なお話を聞かせていただき、この4年間の重さを改めて感じました。また同日NPO法人はまなすアート&ミュージックプロダクションさんよりピアノコンサート「人生を変えてしまうメロディー カント・オスティナート」にご招待いただきました。久しぶりにピアノの音色をききゆったりとした時間を過ごさせてもらいました。

そして3月15日にはみちのく会月寒事務所にて会員の皆さん、本部役員と支部長とご家族、応援団の皆さんとの懇親会がありました。近いながらも皆さんとゆっくりと話す機会はあまりなかったので良い機会になりました。

来年度も人と人のつながりを大切にしながら皆さんの助けになれるように力を尽くしていきます。どうぞよろしくお願ひします。

みちのく会 胆振支部より

先日の3月11日で、あの震災から4年が経ちました。それぞれの環境や立場において、様々な思いが駆け巡り、言葉には表し尽くせないことと思います。胆振支部では、3月8日に集まりお茶会を開催いたしました。副支部長の松浦聖子さんの提案で、一人一人の心境を全員が語りました。

普段口にする事なく心の中にしまっておいたものを口にする事で、涙ぐむ人もいたり、でもそれによって心が少し軽くなったりと人それぞれでしたが、その中でも、「ああ、自分も同じようなこと思っていた、感じていた。」と、みんなと同じように思いながら過ごしてきたんだと再確認できることもあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。そして改めて、人と寄り添うことの大切さを感じることができました。

きっと、多くの人が、「これで良かったのだろうか？」と常に自分に問いかけていることと思います。でも、故郷から離れない選択をしたとしても、今後、故郷に帰るといふ選択をしたとしても、それは常に自分の心の中にあるものなんだと思います。

いま思うことは、あの震災がなければ考えることがなかった人生が、気づけなかった大切なものが、出逢えなかった人々がここに在るといふことです。いまの子供たちの未来や、未来の誰かの幸せに繋がる何かのために、いまを生きるということが大切なんだと思います。





苦しいことや悲しいこと、失敗したと思うこと、後悔したこと、たくさんたくさんあると思います。でも、みんなのその選択に何一つ間違いはなかったと思います。誰が良いとか悪いとか、そんなものは関係ありません。いまを生きることが大切なんだと思います。

今年は5年目です、何年先になっても、今年は〇年目と数えながら生きていくのでしょうか。そうやって次の世代の人たちに語り継いで生くのでしょうか。今を我武者羅に生きることで、語り継がれるものも多くなっていくと思います。

出逢ってくれたみなさん、ありがとうございます。そして、またこれからもよろしく願います。この5年目も一つでも多くの楽しみを見つけ、次に繋いでいきましょう。

七世代先の未来の人たちが、幸せに溢れ、更なる未来へ希望を繋いでくれますように。

みちのく会 旭川支部より

皆さん、こんにちは。定例ですが、協力を賜っています案件を継続してお知らせします。旭川市内にあります【道北勤医協】様、被災・避難者の健康相談に随時対応をしていただけたこととなりました。希望されます方は、まずお電話で「松崎道幸先生の出勤」を確認のうえ、症状や相談したいことをお伝えください。直接、病院へ行って相談ができるようになります。

相談窓口：一条クリニック事務長/大久保さんか、師長室/神長(かみなが)さん

連絡先：道北勤医協一条通病院

〒078-8231旭川市豊岡1条1丁目

TEL 0166-34-2111 FAX 0166-34-2924

また、同病院・松崎医師から東日本大震災 福島第一原発事故による被爆に関する独自の詳細なデータをお預かりしています。興味があったり必要な方はご連絡ください。郵送します。

連絡先：090-2737-3451 金谷

みちのく会会員登録の追加や変更について

みちのく会(現在の札幌本部)では、2011年4月より会員の登録受付を行っています。家族が増えた、引越しをしたなどの変更や追加、また、まだ登録をしていない、登録しているか分からない、退会の希望などありましたら、電話または、メールにてスタッフまでご連絡ください。

尚、登録後、道外へ移られた方も希望があれば会員を継続できます。

※札幌以外にお住まいの避難者さんも、どうぞご連絡ください。遠くの方でもメールや電話などで情報の共有や伝達ができればと思います。

みちのく会(札幌) 今後の予定

平成27年度のみちのくカフェ、有償ボランティア等につきましては、まだ決まっておりませんので、見通しが立ちましたら改めてみちのく会ホームページ、みちのく会メーリングリストにてご案内いたします。今しばらくお待ちください。

またみちのく会月寒事務所につきまして、都合により事務所を毎日開けることができなくなります。そのため、翌週の事務所の開いている日と時間帯を、毎週メーリングリストでお知らせしていきます。来訪やご連絡をいただく場合も、その時間帯での対応となりますことをご了承ください。

みちのく会のお問い合わせ先はこちら

■みちのく会 札幌本部

会長 本間 紀伊子(ほんまきいこ)

札幌月寒(つきさむ)事務所

住所：〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11

Tel・Fax:011-826-4092 HP: <http://michinokukai.info/>

E-mail: office@michinokukai.info

【札幌本部の会員数：1,450人】

大人：763人／高校生：15人／中学生：50人／小学生：238人
／乳幼児：384人

■みちのく会 旭川支部

支部長 金谷 光英

住所：〒070-0032 旭川市2条通7丁目227番地-1マルカツ3F

Tel:090-2737-3451

E-mail: asahikawa@michinokukai.info

【旭川支部の会員数：144人】

■みちのく会 空知支部

支部長 渡辺 歩

〒069-0351 岩見沢市北村砂浜4925

Tel:050-5535-5518

E-mail: sorachi@michinokukai.info

【空知支部の会員数：35人】

■みちのく会 函館支部

支部長 鈴木 明広

〒041-0843 函館市花園町33番地8-606

Tel:090-2984-3752

E-mail: hakodate@michinokukai.info

【函館支部の会員数：55人】

■みちのく会 胆振支部

支部長 二瓶 勇樹

〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町167-6

Tel:090-4555-3275

E-mail: iburi@michinokukai.info

【胆振支部の会員数：11人】

■みちのく会 恵庭支部

支部長 小林 靖

〒061-0374 恵庭市恵み野北3-1-1 恵庭RBパーク S-205

Tel:050-3553-8884

E-mail: eniwa@michinokukai.info

【恵庭支部の会員数：10人】